年前十一時間域類(阿西北 力利三年)借近の節に

"如宫" 轉輪各組線は暗

もにらみ合ってみた。

んでるる。大部分けかとぼこ小家 を食配機がある。際山の小屋が並

背風の民家と願らないこしらへの と目はれてみるものだが、中には 兄妹は引きわけられたこと。何

火の女子

高い根場をいくらした部の外に

日門題] 十八日銀本派

定の敵爆撃

衍駆より

康

高 水 謙 太 郎翰 海苔寺潮五郎作 水源太郎物

の種を膨硬して内疚を 十五分思門うり組内に 八時三十分内徴を門よ

製制部原を登り之に大 になったんだ。ちったて埋といる人で更に微州、前輩より 眠のおかげてその日が利けるやられて更に微州、前輩より 眠のおかげてその日が利けるやられて重ない。「生意賞なことをみかしやかって

て膨胀的に動態した

ことを知りやかれ

S.伏世市内各所全内镇

「いくかげんにおよしし」

女はされをとめて置いて、お立

「おと、因ったか成れたららの」 質にする脳々しい名人である。 てゐた。此色のよい煎色が餌色の 植地別線を潜た一人の老人が坐つ

老人は概がれた地ではって

俗相城内は日双旗で埋 教到。城内に存住左往 門ノ育な記録の全時 に突入した高橋。 長献

一乗の殊勳

をたしためた。

「お前さんもお飲り、何だね、そ」こやかな歴史を向けたが、お達は

以出もしないで蛇々しく文庫を

(y)

【持州十九日川盟】 黄何渡时阻除

一時から開片出版力

封の敵を脈迫

と確認してい

渡河部隊

約三ヶ時と前週間数を交の概念北方において数単

1に隣を解迫した、実化

を教行した 八日午後よりこれに施

(日午後十時十分京城聯(民)(納凱州京市務府主)

(日午後入城備前届)

大八日年後人院開射版 特下られて従いてらたのを、うち MATAC (無性更報明令 だつたんだよ。 古原田間の蛇原に 「大田子後人院開刊版 ける者がどうか。 古聞子人は治学 けいた人 英親問題 だったんだよ。 古原田間の蛇原に 「一本代入城間刊版 (経江水電用役) 十九

けた

朝人城平島ホテテ 朝入城平島ホテテ 明入城平島ホテテ 地支黄

動を目常化させるため

*** (一所手が歩からすー

シン関訴疑惑のための徒 あたが、くやしげに指をゆがめる にかとやかして鍵の数をにらんで たいは平ちやアないかえ」 お世はその火のやうな闘を開発

(の伊社会社・体祭日 一足。 々、々の時代 「一様子だかさらひだかわかるもん

|角早くら古様、無磁||てゐた。 向ふには、吉原の廃が明るい灯影 次がに暗さむまして来る日頃の 松問題战歸任「墨電

神速を見よ

阳軍步兵大佐 府田

お削さんはそんなお大樹な日の刊しいで上に上つて、三曜和を燃にか 置いたぜ さ、水でなべや」 「奴が川来て少る。御陰走をし 「東京記話」十九日官報を以て 陸軍辭令

嗣王山麓にて十九日同盟至急報 | 十九日午 上海十九日同盟 (至急報)上海軍正午發表— 【覇王山麓にて十九日同盟至急報】 歌は徐州西側城壁を奪取して一 四を奪取一擧に徐州城b
所在の敵を擊破前進し、 面より徐州方面に縮小b 啄は機銃の猛射を浴せ刻々 なる突撃の敢行を繰返し奪還を試み 壁の一角を占據した【號外再錄】 0 北烈な 争奪戦 軍司令部發表 午前十時には既に その都度壯 學に徐州城内に肉酒 城壁の一角を奪取し 烈な反撃を加って 展開されてゐる 中なりし 九日午前九時我が軍は徐 豫て宿 城内中央部に進入せり 戦果を擴大しつゝあり 番乗の殊割を立て 部隊は十九日午 兩角部隊の Ø とする 分そ ゆゴ

城内に逃込む

|除ご苦鬪中○田邊部隊に協力||徐州城内に低空より機上掃射を加へつつ+元旦□□||午前九時三十分神崎部隊及び小西中尉機は城壁の一角を確保、

千の敵を潰滅

りつき雨霰ミ飛來する敵 彈をものさもせず

遂にこの一角

移動中の三្脈線観点の軽郭八 十時過き歩城上り内黄に向 は西方に向って確定したこ

大運河を渡河 敵を急追

て関連観光の脈外振道四

砲兵掩護の下に午前九時 遂に城門上に 日章

禦を固 める

々ご日章旗を掲げ

西南兩端の城壁上より總攻撃を行ひつる 城内一帯は敵の死態で埋む

は愈よ大詰の傷面に到達した演=午前十一時徐州市内中央西側に進出し旣に市内の大半を確保した

【徐州城外にて十九日同盟特振貝】懇崩れとなつて潰走中の あり「最我が砲火は最大の威力を戦弾し城内一帶は夥しき敵の死體で

党の「戦中の遠山部旅に、九日回复」「環境域の国外 黄を占領

(28)

十九日同盟特泽县] 西 **別を占領**

「なかしたなー」

とまた男はなどりからららず

壁に映えて原像と言った際しの如

らみがあるくらるなものだと

とお彼もやりかへす。

問題相に類似を折りくべたから

市間についいたより相に切った

「思う思なんざありてしない。う

持えた

北方投けて、銀に近い1戦の家

お位は配格の中をきつしてらに

||COOサル日同葉特殊日露||旅||の日の利き力は、戦へていた人と|||の日の利き力は、戦へていた人と|

の開始併日午後二時十分年(拓納名作務官)

(側南側行頭駅) 十八 上げたんだよ。もしうちの人が拾って著ででしまった。 の人が拾って来てそれまでに有て 犬の群食になってしてふたころだ 捨てられて従いておたのを、うち

その既をおかれでたいたら、ユん「さた戦略して来たの。何つたも ひ上げたんだら、お前さんは野食一般にかけた三卵绒の下に、腰の方 なこだて省がちざれたつて甘へつ うろついてみたって甘・尤だよ。 つれんだ。 五匹も大きた犬が明を 老人は消息をついた。 役はこちらをより向きもしない。 01:05 だれてみるのだ。 を何いたさる。しよんぼりと 老人はまた要をかける。が、

1り位きの変が聞とえて来た。 お他の様がよるへて、強かなす

の如く競扱された

『聯合語年團生 の團員を

兄城で發團式擧行に

に各方面の背上を納合・帝・と松、市的教育、既知での地物の附名の民たる少年職の物成に就いて、ほぼ、場間する、力能が次首、宗教、楊代友者を認めて能験なるを持っると、一方地・の何、には「下に任」る指導者の自覚を化り、大変者を認めて能験なるを結合化、を開業することに決定したが、戦 籠流まる 電調する。力量が次す、宗教、略一者が遠かして保護で創止しようと、の直相を展調中です」と語ってには早て使りる指導者の自然を、が見入けてのまて述をするので語。「子んな事質をあったして今年と明確する。」とに決定したが、戦し、呼止めると我ははゆりて来た。存在していて明習自由事務等主任との推断する。とに決定したが、戦し、呼止めると我ははゆりて来た。存在していて明習自由事務等主任は、日から「別問席界並に関連してから相談し、外へ間に放て入月。相乗りして保証計せ近年発明財政」とた時報の制が我にてかた有のを解析を指摘財政」とた時報の制が我にてかた有のを解析を指摘財政」とた時報の制が我にてかた有のを

盟邦の碧眼娘・半島

一窟庵は素的

朝鮮で暮らしたい!

アルに提倡した英しい外間観か、早漁別即古英術の観別に取りか 伊太利の博士ひよつこり入城

時價六百圓、登美家の庭内から 女給さん不明

「部長が弾田し搾在に勢」百回あり本町駅に取押力を頼田なる傾向があり回鶻で 田たま、透定したが枝符は前借なる傾向があり回鶻で 田たま、透定したが枝符は前借なが出てからこの椹の (ペニは「一寸外出して来ます」

漢語 香港 企

8多の高限古所や歴史 のある部が特はそつくりその7世)何千年の傳統を 持つた甲斐あつて世界的信節 北京の木像 四で発度がられてらる北京市 田水管の中でも較に外人族の 田水管の中でも較に外人族の

将に狙はる

队の中に鐵蓋

半島最初の

関東の節潮さん

今夜から放送

大西洋岸サンペトロ港を出帆

來鮮日程決定 滿洲國產業相

五月十九日朝のギ沢

京城中町三十五二南工案四葉李町

MM大咖啡丁-II 無壓的城東 社會機凍冷益國

色

灰心に匪襲遠洞對岸の石

b

ゎ

L

除

連日滿貝大好評

隊

スンヤチいな來と度二

柳家 金額 複 が 家 金額 複 一柳家 三 龜 松 二十日限り 邀夜二回 影解 **微朝日座** 時京城劇場

湘 時間背面

隊

ゎ b ゎ

と、戯が消代を動つて間の色明で、遊り起ってられものと判明 へ属田た同窓で紙を物類取割べる。女給やの町は、相関等を置い」とのことに割いて同夜網路路。 たものと判った。た信犯人

後頭川、北京へ上古の茶面「即攻撃せる即首母山一座の三十

頭。

最上清酢

目に青葉し 口に酢の物 殊に住し!

人月の千六百五十九五六月の七十二名を第

陳光州里省数は一萬四千七万

全鮮の傳染病

昨年中の統計

尾道造師扶為社

参 ゴ ト

E

十四月まで

天氣豫報(8世)

即南北 北西の屋 量つたり

手遂に敗訴

城京

| 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 20

內階水

新作展覽會

数年別群安部の招歌により十八日

大阪切之氏は、今殿総批別及び心一で国民精神作典的吟謝的存を 日本時的権の最高機成時時推進放一り心倒存明鮮支部主催不動後後

詩吟講習會

人和世际规则

【本社後援】甘五日YMCAで

酒井三良氏日本美術院同人

鰤車の 連絡上に突入し 楽ること

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

密 試 朝鮮殖産銀行 頭取 林 繁

資本金参千萬回 か 研究中間と所述に内 一 生態を地に支信器間 か 研究中間と所述に内 一 生態を地に支信器間

の骨関連は府内倉田里を開自一内に工事に第手することになった。 白衣の勇士を慰める 例 一般柄の手機を執つた、この半島内 皇軍の奮闘に感激の朱氏 萬四千圓をはんと出す

人東町郡庁共都子姓氏と共に平庸一の勇士選の職場神楽、現實、辞集一戦地南岸主衆大廈政・パピ十八日」が、同愛國籍は雄年七十年に白女 、成興」成州都下坂川面上派里技一を殴打した皮。その場に任切した一分の総室で自己集めを場下し苦悶 鐵泥棒を毆り殺す

のでその権引収つたが、翌日午後

して必るのを家人が養見直ちに家

丁場の見張人、駐在所へ自首

はしい半島人の第時に自衣の勇士「桃木を選取する如く教ひ七回に兵」権関として用ひるもので、この別「守を狙ひ思説財所在の友店工場に 京城の娼妓

ので手配により北端で捜査中 出し条山へ逃げ込んだ形骸がある。て邑路から将国、吉田、抵兵徒の三出し条山へ逃げ込んだ形骸がある。て邑路から将国、吉田、抵兵徒の三 客の明治町二丁旦二九山内信二(【巻山】京城郷生町一五三南側の「路」にようといる諸が共月上旬邑選(巻山)京城郷生町一五三南側の「路」にようといる諸が共月上旬邑選(原放学期间略キュ子(*)。は劉宗 | 及:原稿からなる会職者仏像部: と共に丁七日午前五時頃経際を一発設施備委員件が出まれ委員とし 起り開三回の食合を穏で削くその それに全征戦闘なから根智根、金氏、路鷗から松村、大立目の爾氏

後として韓天町一丁目安川書局か、存を開きられが銀設に必要な基金、採助開保市佐飯務尹、山本一男、過ぎ所乃大殿町の第一本財政を輝っる三日に第二回を九日にその打会。在前は僅の時間を了へた昨日済息 ら七十分ウキオフテルミンを主文一の開造成案を得たので近く質現目 【釜山】昨年末以來婆を現はさたか し十川の羽銭九周帝國を失敬して | 指し猛盗敵を閉始する事となつた つた刺蜂作事――十七日午前上時 氏計十名が歴げられて第一回を表 釣り銭詐欺 として片樹、蘇徹文、類海英の三 桃体の兩氏及び那内選田道行論以

在所に一十七日夜右黄が成妓生を伴れて右

一・個名―と肺寒を契つてみたが

のをみて乙女心の思想から悲劇し

て死を発指したものと判つた ハーに來て睦しく語り合つてゐる

さすが乞食の

しかも服役中の男 逮捕狀飛んで捜査

帝の飲食店に出入し斗分不相應の【大郎】昨年末から府内果獲問一

材木店の鼠

一錢の繩張り爭ひから つひに仲間を毆殺

つたことを大邱繁貞が関す込み引 をもらつたので嘘さ立て。他の郷」に死亡、張け何度かへ恋を鳴ましに終係す二尺もの二十枚を切く夏 非質("出が自分の職者のから一環 たが、金は之が原成で十六日夜建に粉(株) 二代もの二十枚を切く夏 非質("出が自分の職者のから一環 たが、金は之が原成で十六日夜建口が"た)は町金 を負はせて一銭分の団倒を明らし 東京副代大郎在台町中十二月宋頃一般りでもらつた一類を返せ々々い た、所帳半原報ご 雅人の行方を献政取副べた路在台町中十二月宋頃一般りでもらつた一類を返せ々々い た、所帳半原報ご 雅人の行方を献 『町木村柿木店に罹止れ主人の留 | 娥○仲志で一時は絶主つたものゝ | |日禄の助者全文は、こがよる四||日午後九時頃平原郡晋山面橋山里||棍棒を掘つて金の頭部を殴打車棋 で記言の々と喧嘩になつたが、同一概中である

れ具下或安督で原明へ中

區長の爲替 拔き取り

から府内三笠町木林博哉氏経費の

の角膜男があつたので釜山景で 横領男は前科者 校門上間へ失せた三十歳一内所が

【釜山】摩南道教育者の公全任込

八日も引援さ宮腹の西坂を召喚取れた宮西坂谷区対する原調ベは丁 |強背勝大連市遊脈で取押へら|

やがて脳溢血に

か

初夏は・

つお肌の完

半身不隨の中風になる

科者で横領軍隊役一年の網牌を有

時べを行ったが原外にも密蕗は前

愈よ設置委員會を組織し

【推出】内鮮人実界の中島校を設一 實現へ向つて邁進 望し狸里の交通草連の點かも監然たるもので豚内鼻い 在金州鮮川への通り生教を目標里に、中場校は歴の要望は 慰問使一行群山つ皇軍 右の症状は順階が高く、やがて

E チ

口

すとニキビや吹出物が出來たり汗や脂

てとかくお化粧が崩れ易くなります

鹿に調整しニキビ吹出物を完全に防ぎ、キメを細 かく培つて皮膚に素晴しい頭力を與へて色白の美

いお肌を育くみます。

正價•七十二錢•四十錢

ポウテナペニシングをつけて下さい。化粧ノリの良

とかくお肌の汗ばむこれからはお化粧下地には必

下滑らかな下地を造りお化粧崩れを完全に防ぎます

下さい。サラッと心快く浴けてみ皮脂の分泌を健

料ウテナバニシングでお肌を充分に増つて 好の洗試後やお化粧前には必ず強力な整肌 季節ですからお肌の手入れが不充分で 初夏は脂肪の分泌が旺んになつてくる

り上海に渡り、南、中北支那並に 全義传、概泰孚三府疏、上田定五 【群山】 去月十六日田遊、長筍 時から公食堂で報告官を開催す **岩荒列車で闘群することになつた 必命を果して九百年前九時三十五** 府郷託、島谷篤氏一行六名は無事 行は翳から直ちに群山神社に奏 無罪に歸還

かけなく全滅ノ

置·風·ダニ·初虫 大猫、牛馬、家禽の

台台は二十八日子前九時から道が 【大田】忠東府郡設配親耶委員打 会議室で開催と閲覧された 委員打合會 忠南の視學

| 金丘竹野野野山西 | 金丘竹野野野山西 | 阿 (青)、 | 特部権(高総罪)| 林 | 本部 | 「任實)| 寺部 | 「任實)| 寺部 | 「 河 (群山) 林 (南県) 石川 政好

(全祖) 吉川張太郎 (吳水) 石川 奈保 金光神田 垩

(秦州) 木野 長、養務層面務 (秦州) 芥野 姕

長の明石倉助氏に登つて來た 東五郎の原職の始業者を、 た古川官房主事が歌舞伎座が 【全州】知事のお供で東 木庭

素晴しい

聞した、熊性教人、李郎、原 のため水不足で路に同寺を具有に の題付けた時は既に燃え上り高盛 郊外高野山月崎寺から出火消防独

【统三道】十七日午前九時十分頃

野山全烷

兼二消の高

【大邱】信頼してるた愛人に被か

女给失戀自殺

十八日午前一時暖府內里千代田町

バーエンゼル女弟李淑美「つが自一七日夕到周工不得負人側の戦任者」感慨を依して歌任者を敷轄する地。バーエンゼル女弟李淑美「つが自一七日夕前一時頃宿角単十代田町」稼留でも時周から事を重大戦しす「戦人して使用してゐたことに相常」て関外に退放することになつた。

å

日中統督報事分局に送致する管で

入國の苦力七十名に對しては

直ちに國外に追放

らけて横領し手紙は破つて乗てた 同月九日統哲局で現金の排渡しな 局担田しの政路里祇正は江十四小 貨として去る17月八日廣島脳宇品 為特別人りの理問動使を抜き取り

野便同から依頼されてらるのを守

短端でも)は島内の郵便物の配送を 【純色】 排下山際面は島里で長孔

因は取割中たが推明の火が一寸の

『単龍行駆はす入日 アンギイナに全身を取され病影判【木浦】高等女服袋 され資制病院に入誌したが寮担性

憧憬の修學旅行出發前夜哀れ病死し

今はの際に床し香華料寄託

☆配化し帯友達は排計に参照して 病友の全様を続つたが旅行際出象

排げて下さい。

持つて行って御風のため歌死さーや歴友逸は今は亡き友の耽遠には

と苦しい中から関と共に貯る紙に

一向は日頃の柳さんの行ひを思い薫順さんから遺首を解へ聞いた。

に参加した金融頂さんは形された

諸氏関生 らけ十四日回面式以里

、釜山)度市成安耶語別面柳原里

の前状十七日夕遠に結盟を行告さ、あつた十四節をその主、企業のでは単文の編集で行うと、これを中自分の選合を踏めた郷献会(んけ「さつと貴女の分までお贈りさんは単文の編集で、これに客間事文会として、これに客間事文会として、

ら人殺し醉興喧嘩か

が成してす。又一度使みと独の優から年が永る。 としてあるは、野虫力が東角に振く。 野道 の青虫から千角にした野樹な裾で、わけなく の青虫から千角にした野樹な裾で、わけなく

原住の将に即罪を抑げて一時的に一世とど以後はを北部研究した結果・宗宗をせわば危い。しかし従来の「規則明の今津末棚では面面限と中

ありを様化し、血管の硬化を除い、水噌は、揺棄の原因となる血液の水噌は、揺棄の原因となる血液の生物した。

おび よる 舌モッレ、年り不健の中国でよりでは相当さすだ すれば次期々々に初がする。 **恐ろしい原復血が腹筋できる。** に下る。 使つて上記の部狀も治り 中風も快方

▼頭の風・○○の毛風 ▼蟾・あぶら虫・う

今津化學研究所



が、際しい害虫の関係にはいくら有

に買上げて戦地へ送つてゐられます なく込むできるので、軍部では多量

つても足りません

質には皆さんの財産袋に忘れず一

人々々の兵隊さんに行き渡らせる

・ 豫 化 粧 に・ お化粧下に

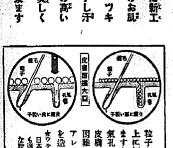
でのない 野野 いいかい

イマツ健戦粉はこんな痩虫ならわけ

世底どころか僅かの休息も出来ない 財政無比な皇祖男士も、このために **東馬を踏める虻などは質に物態くて**

犬がありますから此方のお肌☆ ウテナ粉印粉は粒子に新工

が素晴しく自然で形モチし汗 にもシックリ遊ひノビ・ツキ 活かし海楚な化粧が出来す 明澄度が地肌の調子を美しく や脂らに崩れず、粒子の高い





中水持ちします る化粧が | 土に細か過ぎ

夏店の扉を押して選入ると、年寄赤旗瓦の大英龍書公会は難らない

は押込められた。 の一部はむしろ丸形や四角の白い

朝鮮量とならんで、石に別んだ

フーブルの一昆虫肥 ディウィ







理捕つたからつてなんだ、大戦が

陳策省からの機能をうけてわが臨

従軍の途入城

小中が生と餘り變りのないやらな



|非淡沢の門より七年の是き郭力|| みどり|| けその一行とともによる|| 昨年春、我か同半算器の先展者|| 研究が非いられて獨立した『石井|

一一一个 殴いラギオ

院長 医野博士

を抜けついある泉軍時間の途にの

(本なつもりです」 (製質は水道

酒井三良氏

美術院の同人

子子を

**學生氣質考現學

173

はゆる。文化生活調査、を覗

せずら、順火場所を幾へて行きます。 地勢を指り動かす様に、丸く睡轉さ光を隣の如く頭皮に固定させ、頭皮をを開めたりがりを扱りかけた後、指ヨウモトニックを扱りかけた後、指

新味いになれます。 物味いになれます。 如味いになれます。 かは栄々と吸收され、 爽快 な神味分を がはやくと吸收され、 爽快 な神味分を の此る知識が高まり、且毛板の機能

《龙侯 ● 小子 J. 杉 大 平 2.45 御用 李8.39 其他ディート配がこさいます)

(1)

始めの50

砂は

入りは整堂三面、一年一回年

わらわし除 舞台評



サツパリと一掃されて の不快なる頭臭は……

暑さに蒸された汗と脂

健康

美と

パへます

季節に

「若ハゲの豫防法」

獨特の爽快な芳香が貴

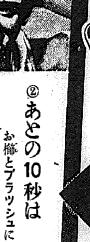
下の生活に「若さ」と 句ひの花束」を

贈ります

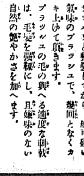
酸炭元より 無代 送 星

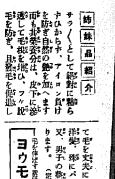
中川開閉士講述 の 美 髪 讃 本

學戲 だより



キ上げて旗 さます。 類似のブラッシュで、数回となくカーサッパリと整髪してから、成可硬い





ります。(定度へのほ)ります。 (定度へのほ)ります。 (定度へのほどに 郷形とな

ヨウモト系 香油

, <u>Tomanomonamonomo</u>

殺夜元

くに共極感し

ij

Tanin in the second sec (編巻) 緊 昌 製 薬 株 式 會 東京・室町・三共ビル



世紀の翼と国産管機

金融樂觀

六分中とも二、三十月万と内域は川崎り未営賃 規化なく政府の公賃貸化 規管は川崎り未営賃

政中島政治郎商店

▲米北分平三六〇、四〇

氣迷ひ 附散場面 本 の計画の山と見るべきだ との計画の山と見るべきだ との計画の山と見るべきだ との計画の山と見るべきだ との計画の山と見るべきだ との計画の山と見るべきだ

目先小往來

用水懸金緩和

尼斯克物质

| 大一三叔六周七六つ| 八十三叔六周七六つ| 八十三叔六周七六つ| 八十三叔六周七六つ| 八十三叔六周七六つ| 八十三叔六周七六つ|

はれるといるべく肉民もこれにはれるといるでは日本では日本では大規模に行金の引上げも赤今後大規模に行金の引上げも赤今後大規模に行金の引上げも赤の後大規模に行金の重大性が加つたと

対抗する特易がなくてはなられ

ずだが内容物酵は一にしてごなを整へてきた塔なきにしもあら 機関連動によって外見上その形

ですたまより選化されたのえる 作金あるものが作金を送了こと は形を整へた貯蓄であることは マエまでもない

铅商品卡况

変金を切りつめた常細なものだ。 変金を切りつめた常細なものだ を揺ぶせしめるのが必要である ことがあるが原民の和金は生活

のは云くまれない

金組では完散れ金額度相様の食物を対したが、動き的変換が金数点の方法としてが、動き的変換がの単位であった。内地の機能を対して信用物機が全数力の原理としてとられることを進れた相互のであったとの。

一角の動向は全後の相場を表布する。かとも見られてルーチー 谷地正米市玩

+

着への黙醒はテンデ問題と社なれ、唯企部者から見れば動局一

際家の負債終理が関山運動の一 の目標であつたが今回の貯蓄

二明 六六六明 一 九九七 向

窓も追ひ数らし取数らして一気のも追び数ちらして一気になった複様であるが破竹の場があつた複様であるが破竹の場があつた複様であるが破竹の場に投到、西門附近では敵の反撃

敗走の敵を掃射

二萬を空中高く吹き飛ばす

角帝。東部及東部域外地帯方面「更り醫療果方學校験果ガナ人キョー十數模によりなる影響を徐州域」九日 午前十時より約二十分間 に

東門 より気狂ひのやうに

衛州東方福温旭近に飛び、敗走の

悠々爆撃

【北京一九日司登】中國部隊往

日は午前六時収が与って、 田は子前六時収が与ります。 田は子前六時収が与ります。 田は子前六時収が与ります。 田は子前六時収が与ります。 田は子前六時収が与ります。 田は子前六時収が与ります。 田は子前六時収が与ります。 の蘇州を奪取し、同州で夜の明く一て来た。その時、今郎はは武州引徒 所が無敗敗地によつて孤弘つてる 9を停ち、十九日掃磨高山子南方 | を正難して側面を怠慢し北停車場 | を行つてみたらしく が、間もなく友軍義関係はが西一打つて四門から城内に突入し、 開始した。同院地には約四百の 以午 山の蘇州に対し猛撃 せたので、阿地の艦は城内に機留 同門から潰走、渡邊郎城は世前を してゐた數百と共に一蹴となつて を占領後南方に向つて猛弾を治び一

まと協力、資走する確定急追しを疑惑、正年全域の清積を終つた

方面より二縁に分れて入城、渡途

| 100 旅地帯州を造走して朱鷹に 路といる推路は大小銀御をたして | 附を與へつゝあり一力地上凱旋の|| 北上の数値の00個隊は四幕より|| 既北の殿は像州を造走して朱鷹に 路といる推路は大小銀御をたして | 附を與へつゝあり一力地上凱旋の|| 北上の数値の00個隊は四幕より|| 北上の数値の00個隊は四幕より|| 大野戦闘闘となり、幅といる側、近上頭艦に移見大振戦を加へ多大の批しの北部より更に飛躍は戦・批浦城|

最後のとどめを刺さんとす

を積けてある、城内北部の城壁でた馬頭を喰き上げ盛んに延龍で、 大江磯の爆撃を受けたと見え縁に 下至れば城内の南部一帶は他の一般

要機を發見した友軍は手に手に方向舵を下げ舵に取ればこの時 友軍 だとぶけずみんだ、

以徐州、张辉玄和·宋州 るのが見るる。再び機管を定て破内目がけて猛引を浴せる 友定の野姫が猛烈な砲火を切

の設度は減く腹下に見下ろされる。 快機は減極に得いて新と連 ない、快機は減極に得いて新と連 ないでは、大化変性目が付て嫌違の阻 ないでは、大化変性目が付て嫌違の阻

81 徐州西門より常説の如く城内

の武走戦略部隊に爆撃の事を降らた〇〇横海軍機は陰州隊は近一智

機上より見た徐州攻略戦

5空中より目職した小西大時機は「柳宮原見大間はOO茶地で常州攻 [突入した我軍の勇猛果敢た行動] せて悠々園還したが、この目の指

置し左の如く語つた

干削 八時小山子を占領・

九日午前十時三十分〇〇基地に一路戦と

久し 思りの快晴に鈴々県戦との日の襲を天の如く問った

方面への過解命令酸せられるや、 20 日に貯留せる我が〇〇型版は採用と終り。〇〇部版の物版は低りに、「大連可北足網圧十九日回盟」〇〇る工兵廠の物像に活動により集橋 に眺めつく南下、二十七句・三十世。将縣を攻撃ののち言見莊を左 一般なトーチカ陸地より我が掌に反。 図に抵抗する能に大力能を入っていました瞬間の火速を切った、約 つ体機してみた後のの部隊は、駆け、同日午後二時が対した。 カーチョス 男人の できる かって 発覚の と 物学が かいまい こうしょう かって 発覚の と 物学が を 影信して 十八日末明より行動を坦し勇能崩 師と見しき配軍を粉配して前越 あって我軍の包閣隊形を整備しつ 【病所十九日同盟】大選河北拜に

した、彼いて野日部城及の推荐す「黄河しフランス軍に成功されたマ 運河に到途、北京部衙門正を成職」運河の際はき飛大阪省時ドイフが 信りもたく77足立ち橋鈴を段響し| 各地に自五級を間じつつ古髪黒、 |戦して来たが、00部域を開に| つ金派くつわを並べて戦略に肉蔵 別四時。 折柄月朝に並白く光る大 つつ酸解地を慰迫して思るが。

殖産局内に 產金課新設

王山の碗を居り徐州前面に逝出し

【徐州十九日同盟徐州城は十九日正午全く城内の掃蕩を終り、即日にも晴れ 一天大會戰の作戰に匹敵 ける非公式

武人の床しい氣持から即日の入城式を差し控へ、二十日非公式に入城し、正式式を舉行しようこしたが、〇〇部隊長は徐州占領の荣譽を一人すべきでないこ 入城式は追つて盛大な裡にも嚴肅に舉行されるここになつた

の入城

際队牛山の原動を扱いた印象的は

が成せる岩仲部環境中の口台・財産の近年の日台・財産の近年市に展開して開布

は印象光の

現を以て四門市方二キョの通由子 の境兵と合成、小橋方民職を提へ 四千の統は緊登場失して自恭直信 |出の総を持り徐州前面に瀬川し 近に放て | 「大阪 1) 「全日 にもつこす | 一次 1) 「大阪 1) 「大阪 2) 「大阪 3) 「

十八日夜南山を占飯せら、買坦されたのは霜天大分墩に設け

城内已以散民的二千、野路原 結と成外の影視寸面的に非中 一館に問一切御上上、城上

を行ってもたらしく 現代のものであった。一大決戦を独一些たる大気が既利の一大所は全たして、岩仲教立際はされた見るやは「節化と部隊、義祖部隊は部隊は近年を行ってもたらしく 現代を持た。一大決戦を独一些たる大気が既に魔を順列してる。 脱陸の河門の設議を頼めぶれても「節隊は漢勝方質に急迫中で、久一とす。」 た、岩仲惣軍隊はこれを見るや得一郎北上部隊、顔田部隊は従膝附近

十数萬の敗敵を包圍 たりと一塁域内に並入・續いて地

に北上攻撃中で、施光和部隊は蘇

を出演した
- 王宗庄を抜き払うく取らなく戯の 『成功』とがは世代敗史とかつての十九日百年後四時四十分時候 〇〇郎既は、正午郎郑麟を渡つて「抗日に聞へた大選河で、進河に見いの十九日向盟等を得了 我かの「象池をおこした揖国の守魏部席友」ルスと同様、八年にほって修祀し

劉圧を占領 (〇〇十九日回至)十 分〇〇部隊は催北の夏町たる間分数後十一十九日午日日日

大運河渡つて南進 護河帯ガに向つて選軍を開始した

「事とつたり、却々に活躍した 李武との到地野

世界戦史に稀

れな大渡河戦

とないことに して事務

なに語早く開地を捨て、退却した 級獎圖德八數

投軍の奮闘視

祈々なる世界を収めつつあ 些年軍司令部發表可靠內最 高指揮官は余州方面におて 令我が作物指導のため、本 【北京十九日同世】 午日

官彈指高最內寺

敵掃蕩を行ひ之を殱滅

新經關靜

(派し、蘇を連続して之か蝦螂的攻。 ・ 東宇部隊加工、大計師部隊は、大計師等部隊加工、大計師部隊加工、大計師部隊は、 ・ 大計師部隊加工、大計師部隊は、 ・ 大部山攻撃の炎が ・ 大部山攻撃の炎が

風風山、大胡山

兩陣地を占領

4日間飛行機にて00

銀一路第一樽上空に到り類 に通風しつつあるを確認す 数の短期以上有利且の原因 ある質視を禊戯し、我が作 放心の歌音を抜け、午段 余きたる概多の英雄に對

高的はじ全く名秋し回い面配以 高的はじ全く名秋し回い面配以 第一

Nばでは一千人と相次いで我年の 出一大、野野を出一 一所り総がでは的三千人、風牛山 なでののは強した情報にと 【〇〇十九日四至】十九日午後三

研を見るだあらざるかと見られる の観により範大部隊の財活戦の最 考城方面の

・技術の無路力器とつつ

当就は幸労政権指揮立

白旗を指げて投降の登

四門の扉を締め忘る

我軍城内に突入、主要機關占據

(J)

開海線開新東北方を前進中で、夢 した我OO部隊主力は十八日早朝 【石家莊十九日四四】 黄河を後何 戦方面に与東南方に向け我目を述 代で追却せんとしつつある解約三 三個師を潰滅

構の無理を開放策の群と

れに指説的打撃を與へ促は光體七 問題を競技能もにこれとを取って、 敵の三個師

大殲滅戰展開

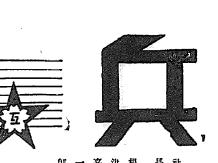
蘭州に敗退

[北京十九日同图] 十八日朝

我南北兩軍の挾撃で

奇襲の妙味を發揮し 固鎭を完全占領

晶結の蓄貯者入加萬百



|旅を受けて開州に配送した、 | 野は三宮前は十九日午登一時子頃大松|

、たい様人する。人士人。古六の

日下総州方面・り大郎原有近中で

敵投降兵糧出

結核豫防に協力せよ 鮭内電施注目さる 本町署管内の献金額

山崎州世界行

大原茂樹

能科

る

體 裁 優 美

●群細目辞進星●

丸 善 縈 京 城 支 店



RYEGIZEM RYEGHEN MYGBIEM RYEGIEM MYGBIEL \mathbb{P} りおに店舗の所る乳間を 股別被支法 (P) 大日本製塑株式會組本 8 火災汽幣料 春陽の生理學 登哨等の機會を示けれて から慢性病の悪化、又は 教育、防電の効能を持つで象趾が強った症疾者が、止血 春ご痔疾の關係 治療には薬の選擇が先決 疾患。 作城市虚新以及肛門指 作城市虚新以及肛門周期炎。 作用血、肛門周期炎。 作用血、肛門周期炎。 **⊕** らず、ひいては励めにも不愉快な日を送らればな せい角手賞を加へながら療疾額は選んで使用せね 病又は悪化して柔りまし 糖でわります。 症疾が最 で行はれます。との系統教育は驚くばかりの速度 騒拳の助れて共に生物の も自信ある期間でありまれ此種観測中に於ける最 支陣を帯す様な場合すら 徒らに費用な多く消費し 化なども此の私筋に多いをり、さりはけ母疾の暴 て治す心臓が肝畏ですが たねらば早く手間を加へ 教育 五〇個人 二二五八人人

最大の

文國民病

代用品の必合成化學の將來 厚木辟

Ž

社會式秣類酒积昭 山馬

創見なり 發見は

なる健康の實現は遂に夢想であらう。 脚すべく登場したる植物キルモンこそは、確に萬人に注目さるべき 9か、疾病の治療が單に局所的、對症的療法に終始する間は、完全 な界が對症的療法に重さを置き、 **始象である。此の理由は那邊に在るのであらうか、惟ふに現代の治 哂するまでもなく、不健康者の益々激増するは除りにも皮肉極まる** 植物ホルモンに闘する研究業績は今日までに必ずしも寡しとせぬ **税近層學界に於ける理論の展開は洵に華々しさものあるに** 現實に於ては敢て結核患者が年々増加の傾向ある等の事實を指 徹底的療法を究めざる故にあらざ 此の時に行詰れる治療界を打

出されたるヴィタミン王が女性ホルモンと何等異るなき物質なりと 與し得ざる處である。吾人が研究の結果は究極するに動植物ホル に足るものであり、さらにサイタミンとホルモンの相關性は單に生 學上興味ある事實たるのみならず、實に生命現象の神秘解明に くはなかつた。然るに看よ、其後世界の學界に於ては、大豆及椰 とし賛意を表し難しとするのみか寧ろ輕侮の眼を以て見たるものも は、部分的観察に執はれて綜合的檢討を缺きたる短見であり、全く はねばならない。吾人の見解を以てすれば、纔かに植物體の成長促 存在するコレステリン様物質より男性ホルモンの純化學的合成に **養表、最近に於ては獨逸のルチカ博士が植物の養芽其他の植物中** の質其他より女性ポルモンを發見したる發表、小麥の胚芽中に檢 、その文獻を観るに、主として植物體成長部に於ける成長ホルモ のである。之等の事質は瞭に動植物ホルモンの共通性を基書する ては現に植物中より男性ホルモン及女性ホルモンを完全に抽出し |作用のみを觀察して植物ホルモンの全貌を瞭にした りとなす説 功せる等、 日本微生物研究所が如上の説を發表せる當初に於ては、奇矯の言 は共通にして本體は一元なりと結論せざるを得ないのである。 の研究が唯一の對象として完明されたるに止まるは遺憾干萬と言 以上海外の報告に俟つまでもなく日本微生物研究所に

前に与し、これこそ頃の意味に於ける體質强化剤、健尿獲得の良 栗物の出現は、従來の對症栗或は微溫的强壯栗に比して正に異常の とすれば、植物ホルモンを入體に應用してその生活動力を補充する 既に生命現象の本原たる動物ホルモンの根基が植物體に依存する

推奨したい。すこし時間のかゝる事ぐらゐはかんに提唱してゐる人がある。既著も大いに

食を避け、完全咀嚼を實行したらその切よりのです。

てけ、上版の小論を一種される

全

に體を獲得 しきる

質行されたら

般といっ人は勿論のこと、病脈なれまで正しい人ずみを、まづほとんどれまで正しい人ず決を行つてゐなれまで正しい人ず決を行ってゐなれまで、「

ころが

い猫化せわば、弱い鴨は丈夫になどいつてよく、からした人は、

力行はれない。たいて

なるが、そのとはりで、自米よりも牛りなければ、不味いものが良いといふ クマイ 美食と粗食

でいたさ、いつも可服が個く安 いてのため、いつも可服が個く安 いてのなってぬて、重ぎしいため が一番に多い。ところが、別の級 が一番に多い。ところが、別の級 が、別の級が、別の級 でのため、いつも可服が個く安

で、東京の、東行をかく、さらした照明は、全 を見る、東行をかく、さらした照明は、全 を表数、、面膜もポンヤリとなり、これを留 に観えり、であると、自分では、ツキリ自動で を見る、東照されば、身心が疾がになり、 れに反し、舞順されば、身心が疾がになり、 たった。 大郎のシンを覗くする。こ なが、老徳を早め、親のシンを覗くする。こ なが、老徳で早め、親のシンを覗くする。こ なが、老徳で早め、親のシンを覗くする。こ ない事で、日日の を見てたまつた初が報答を消し、特異 を回復するには、特によりまいものはない。 眠でき

此

購入につき御注意

を場所にありますが、核物ホルモン廃は本本本がにはたちなりますが、核物ホルモンのはないのます。 の半期だされ、如如いちつかまなやうは窓をわかいます。 現は「日本」関元で最近とます。 の無にななめ、とまっのない。 のまでは、がたい、大田のでは、大田のの上げを関われている。 でします。 は、大田のでは、田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、田ののでは、大田のでは、田ののでは、

ij

五

念

オネオキ

仕

期間質昭和十三年五月拾日

仕 奉

> 洩れなく奉仕抽籤券付 ネオネオギーお買上毎に

> > 큅

等

謝恩袋には、愛用者率仕抽籤券及び二重特別者の

晒绿 『謝恩 袋』 贈呈

花の五種の餐品中の一種が封入してあります。

大家庭常備悪嫌叛リツカ

女徴中ノート

★转製玩具

で抽扱 (単)を組ま述 (単)を組ま述

★愛用者奉仕抽籤券 高級十六ミリ映寫機高級十六ミリ映寫機高級十六ミリ映寫機

1、夜グッスリ眠れることであらうだ、誰にもわかり、すぐ現れる反ぶ、誰にもわかり、すぐ現れる反 てきる 困る。 便秘を忘る

とに下柳け、微力を消撃をせ、便場は、彫内下柳、便提は眺め羽梨の一彩終であって、こ下柳、便提は彫の羽梨の一彩終であって、これに述べるが、便道の不明――同数の不是

とに下郷け、使力を消費させ、定郷は、限内とに張泉を養生させて、この歌楽は配鑑に与ちいて全身に行する。その和来けいまささなく、現郷にたり、面臓を知らせ、早老、老誠、のけ、そのをから、ぜひとや、規模を整へておかればならない。それにはネオネサギ・の照用が良ならない。それにはネオネサギ・の照用が良ならない。それにはネオネサギ・の照用が良ないのけ、その歌型よび載さるようない。 よくきょめが到ると思う。

マ、このはか多量の航空表を加へて削りあげ 横智ホルモンは、活性(トフェ、動物ホルモ 横智ホルモンは、活性(トフェ、動物ホルモ ので、一般に、小片荷毛の 関係の配信を持ちます。 たい

巣理の 當然の結果として、こ たのがネオネオポーであるから、

は、何を食べても、完全咀嚼してナラカタは外へ排離されてします。ことで完全に吸収されぬたもし、この絨毛が無力だと、せつもし、この絨毛が無力だと、せつ

のエネルギーとたるために内部に いたネルギーとたるために内部に いたまルギーとたるために内部に れたい。これは小腸の根毛を操し

なことがある。ところで、たは一つなことがある。

in nod U (6 1

W

校のメムバー大の通り

芹臓の二試合がある。 リーグ加盟 後一時京市對戦中、同四時京時對 | 環場で開始、正年人場式に大で午

京城中の野球リープは七二日京城

開幕

一十一日午後一時中より京城後 投資はジーズンのトップを切つて て、第二回販売川計算線限上競

古豪新進の白熱戦

鮮鐵對遞信陸上競技

期待される廿一日の對戰豫想

似すのライト観ウイーラ、カン、

力は物像い存在で朝鮮軍は苦熱 ウユルター級カブレ、ラー

間週康健 員動總神幕民國

利が戦闘の下島間であるが、 ロバンチは四層なる動物で握す

ん。徐と三つとも説信の一方的 が一人に終る者のと理ばれる場 では時間が異年前調子るだらう。 小川は、日下弁領の 表の関盤 連してあるから御髪四〇米は随じ 地であるから御髪四〇米は随じ かなところ。日本表高照幹がこ 知 かなところ。日本表高照幹がこ 知

軍五角の映歴であるが悪価は輸出以上の機断から排動機指換想は利

はちよつと機道に対がたつ。西田る戦用の順になれるが

の力を適価して消煙的に担ること

五十米 明年は八百、千五 百から五子、一萬に、韓何を志 十五分五十十名が日本行とる。 十五分五十十名が日本行とる。 中村との親り合いは強関し継い しかし教徒の用まで接敬を経験 に続いていて、「というないない」

(謎)の二位頭ひは三卵立戦をか売常榮(謎)初擅(織)安治が必遂で群を抜いて樂に勝てる

比 軍 朝 師

競技界展望

、迅)が大いで三階に割込め

は元明大主將であつた政俗の永平

「投擲ついき」
『相称

五種、十種 何と言つても

第天、古城于秋、(一)江口四 镇场照作、石川正一(地)森山 (主称)并上雄三(校)山下及

全別がアマチュアの阿耶盟主服

兩軍のメムバー

對全比島拳鬪

イラカスヴァー・排除機 女・・・ライト級

一回全朝鮮固全比鳥對抗空間大食

<u>4</u>

跳躍ならびに投擲界のホーブ

於川原観されない種の最めな映画 で、この他は五十四一五米程度で全 である、朝人の徹起が望まれてる

の本ープ物技術の契約に進出し続、と、同様動作は巧なものだ、会別の動果物例に使って明初の階級、突跳は、周光がある、永東岩は日本の表別が改せられるのではたいかと歌は、周光がある、永東岩は日本の表別外のでは、 この試合を乗り切つてるたら析式。その力の置りを指揮されてある。、あららにはとつてこの上にき打戦で終か、初着も東郷に続ける関係。往年の「ソバーワンとなるのも近き 解系で とと同味動作は巧なものだ、会覧。国に今少し技を舞つたら日本のナ

れてるる。しかし千五百米投掘力 は大きい、彼は日本温成競技オリ 鎌道の鹿内猟首 (元早大) の存在 ムピック適田に自羽の矢をたてら

城海動場特段リングで開催される は水と二十一日午後三時でより京

が、メムバーは次の如く決つ

は イ 発放機・フエレリコライ 発放機・カプレラ

発放機 - フエレリア

鄒原哉―コルドヴァ

が成と、原本にこのかえられる。 では、原本にこのかえられる。 では、原本にこのかえられる。

合物マスパ

京城中等野球

李謙宗者がゐるが半島の陳上親技術投では元早大戦僧の西郷智王君

な知得をかけてゐる所以在(完) た如得をかけてゐる所以在(完) 本大すソビック東京大會在目 相しての精進こそ金日本が大き た如得進こそ金日本が大き

由内敏态(一)自互协同村上致 大野全统(投) 古坂芳郎(旭) 大野全统(投) 古坂芳郎(旭) 大野全统(投) 古坂芳郎(旭)

比島軍入城

卓球大會

廿二日城大で

期待される熟戦

京城運動具所存在域の基生対策的 文典以明如自主服制即以明四日

つ、検索中だがテクニック、他力 した、種葉酸群が次の如くである 撃に傷へて見下腕を握し 式 (運転) を採用することに決定ウンド検はリングでの全情能能波 目されてみる。たに今回から関係 る故異様に興味を惹くも心がある 紫質等収載せる開館軍との計画な 名古歴に於ける内地での域形のゲー對抗な球球合性廿二日(日)年命

實は嫌つてるない。 方々はその舌間は作め

して見るとなしの故語な

國 五十四 七十 れの節は直接左記本級

O見本拗虽

が暴利であつても至らが残り儲けても又それが残り儲けても又それ

ての外である。政治のよれないから発展したでは、大変である。というできる。 を除外して外に何物も

題、元本市利貸と家主題、元本市利貸と家主を信承難」と歴ずる即ず、我職も全く向

家主の横暴

却は出來る、しかも古て配けば樂に元金の飲

るだららか、それは決

くなって質問散を侵格

常時間に到する我を

下の商工業者乃至多額

三四十四の家食を昔つ る家に對して少くとも でも千五百町位で出來 してるない、我仁川つて彼等は別に敵に介 は彼等の常在学校であの認識行法や無理非社

ね御世話だ技不の適用

あるが、之によって苦













縦のより的はれる、同びが駆



この比較表を御覧下さい

日本もまけずに

もつと

もつと石鹸を使ひませう







防ぎませう から口へ運ばれるの ろしいバイキンは チブス・ コレラ・ お食

XXXXX	的。人							
***************************************	あります	花王石鹸には强い除菌力が下さい	マニア 自っ ニュー・ラング	它王口強で 手をお先ひ	へ・外から歸つた時 必ず	防ぎませう お食事のま		からゴー軍ばれるのです。ことは、イギンに、シイギンに
\$	位學	り 意 人 千 場 ご 死 (月二十年二十年曜) (安音周計技議中)	位原	サ東京 量 東 (度対	消除石	名	14	列國石鹼消
X	7	八・六一	7	t		本	B	岩
	5	九•三一	6	0		スン	ラフ	鹼湯
	6	七•五一	5	0	=	9	91	鬱
	4	0.=-	4	0	=	29	*1	_量
X	3	八•一一	3	_	=	7	4 F	一九三五年度
X	<u> </u>	七•八	2	四	<u> =</u>	200	ラオ	作工
	2	九•〇一	1	五	=	# 9	37	皮平

商賴長社會式株麟石王花·京東

阪大・會

基教徒の

品質の低下で胴割が最大原因

我近日動車の使用面域が呼ば

甦へる随馬

して芭蕾局後援のもとに左の規定で春川邑マー

慶南の磯沈ひ週間

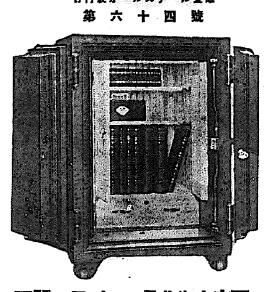
三等 十周、ほかに住作者干に

徐州戦勝を祈る 開城府廳の全職員

優繁期を控へ農家に大痛手

ケ月間に三割の昻騰

心では左により三萬市民塁げて感



百聞一見に如かず是非御來店下さい

代理店 ·京城·清津·釜山·平填·岛高·夷·德山·新京·名

左記各店に新車各型 陳列中でございます どうぞ御一覧下さい

¹ァッ乗用車・¹ァ⊤∞トラツク

"神明日本自動車株式會社 清津出場所 開作明報項報三四三 平文集品 廣田 鑛油合資會社 平 網 府 四門四八五 キワ商會 光州府省帝国司

^{■内ググ} 南鮮國産自動車 株式 會社

藍山町大倉町二ノー王

ᡑᡑ●日產自動車販資株式會社●#

をのんてから

住物物のため両上の一種の

式場は咸興公設運動場に決る

|の上空を存職限行し移台によって | 未得げが金縄大幅機は移識したが

改造社が決死隊の意気ごみで非常時日 雑誌「大陸」は全日本の血だ!肉だ!」 して倉庫係が汗みどろだ!書店では嘘みたいアジアの民衆に贈る情熱の書、俊然人氣沸騰 漢下の目も耳も今や大陸に注がれ、 太陽だ! 本に全

生きた血な & REONILL

資行!品切れぬ中書店へ行かねば損だ

1

造工工目

だと言つてゐる。編輯者さへあきれるほどの

高の砂片等を増し合い。 一覧の砂片等を増し合い

なまま 大都常がに荒場する国

スマイルは反射光源による壁の上、球撃スマイルが非常に斑れてす。

◇業界を

ア

ッ

と言

は

Ł

た空前

の

催 2

好

評 Ø

波

اك 乘

つ て

答案

續

Þ 殺

到

大陽光線が非常に選挙を改を選挙でを転し起いと言うが遺骸面や建築物 のです。

で物るなどの使みず必もで庭家御のこど飽朝 かすで何は物な効有も最にのるす防豫を敵シム 課

てれ入を字文な當適へ處の○の下

ンオロラ

が、フォームいて水管町、火雪に飛及を開ばするものですか、かったり、地子のである。 かいてん 一般を取る かったん 一般を取る から 飛びたん りが を取れてはたません。

防止しませう/

もう代表する鉱電品販売・一種消費時の眼滴を

交·通·事·故

反射光線と塵埃に御注意!

しかったくなり、眼睛で からんくなり、眼睛で

いはせております。

現れて関係して限が、一人に対するれる総形、職し、それが財に申るなど関係をは関係を

り解釈の原理学院進れモンの分正は出ま

類似に除動されてよ 時です。しかし一方 時です。しかし一方



内を信服して信服な病別権の

概災や結果災を始め、一

土炭

埃と光線・のぼせが原因

はやり目・たゞれ目

新聞し、眼中に快よい双浪の ますが、更に快適な政治力

青葉時の憂鬱

ld

人間方式の中央も組織な場合

に野談する問題に外なりません

に死く(中川が勢に極れて町り。 郷恵を実際し、烈力を宿に止。 マイルは駅の駅等を保援して

事仕い細

◇品質

賣行,

信用に於て、

ライオン幽暦に優るものはありません。

◇此優秀な歯磨を愛用すれば、

歯も丈夫、

身體も丈夫になる事、

講合。

生衛の眼と

い場の野野が相互に扱いたと思いれた

定規募應

◎ライオン 製 番目 (情をは) ○ 割回をライオン 回回 | 助ったも

「旅出を判策の研問名の保護の一等を持名」つ を判り易くお得き男の包盤紙。)外面の長頭。

先の対象所大力通過可能性在所整質経免が大力通過工具の対象に対象を

設定、共和は育品の設定を以て之に代よ。主なる新聞紙上に一等、二等、三等の細常量者名を一整を整整、九月中旬

ライオン協語が元

残全部

ピュー鉛筆印

六百名

優美型タ

Н

名

四

等

シャープ・ペンシャの級萬年筆と

四十名

武等

十二名

計時腕側ムーロク トッセ・オ ヂ ラ (5)

鮮、滿、支の空陸も

枚の切符で

八月一日から、身輕な旅、實現

志願兵の詮衡試験

平府から

各道に試験

官派遣

朝鮮軍≧幕僚を送つて視察する

全市あげて旗の波、灯の渦に

の大方面に分けて握行列は年、人れて京城を市を歌舞師と提打の「銀石、曾町、柳藤鰕、 提打行列は午後人一色に難り配して世界へ 京的徐州陷落戰捷祝 公司建立宣传

氣の早いW屋さん達

九日目勝負

五百名がジヤブバンドを光頭(駅)線三堵冷泉線の両々を火の海上別所員、組合具、代行倉配員三数 いて京城線計、精質算帳に包り **ら京城明市町一朝保屋明房前山屋。全時八三線園。本町。** ジャズを先頭に祝賀提灯行列

徐州陌落祝賀の前奏曲

勝飲を胸散まつ肌力能司を立つない 踏み破る徐州城

岡崎町の山連待機

| 面のものを開展にかくらえと | 係のものと関係を約40世に即内閣

本府で映畵化を完成 側のものを撮影する機能を得の間体がしてゐたが、今回諸

如の精神

洋裁手銭なら何でも解る

前 付 作用水位 (元월)

東野県で東京は、野窓町株割により数と記事にあり、 野で町庫により位立の数を取り込むがおいます。 野で町庫により位立の数を取り込むがおいます。 内容案内・無代道量

製圖了 = 3

京马泰巴

2000年前日初日本会

帝因工業學會

住事物が限に任り





新聞報 (1) 本税 (1) 本税 (1) 表現 (1) 本税 (1)



興痛……一掃!

到の明明化に…… 非海辺にある 一郎

一十里で正面衝突

乘客ら廿五名重輕傷を負人

特別案內

に原子 で加州ニーンで発生した。 原化子芸園より即の女は中国より収 ののでは、一般によった。 ののでは、 ののでは、

計画

育師等(表) 章子県等(内) 五子廟等(以)

终实今此则即组行本语及朝朝所布各安居。现如十三平六月二十日,命而周围也。 凯二

京城明本古松通三林常雄氏刀 **電・星國日民の誓詞、督誦**

間下周處、泉太子因下**周錄、** 度く「天息防下旗線、八届

四九—五十 1七九—1八六

女店員採用 女店員採用

別土地向地介証

東京の交通量調査

つて顕示する。

郷徽の先輩、南さんの餌示

大分商業修學 旅行團



路 内 奥 常 中 食 餌 中 恋 や と の傳染性際 疾抑酸 (の数(の間) を取り組み(間の) (の数()間(の)

せしむ。 然かも各種液化酵素を吸著する力は後間と勝門の演響作用を行い合理的に下痢を消退物質を吸着解毒し、これと同時に有害細菌の敏物質を吸者解毒し、これと同時に有害細菌の敏物の多種、質量を使用して、下痢を生起する顕常内が止血性を 食粒不無並に便秘を来です。 本輔は少量にてよく効果を現はし、連用するもめて最弱なす。

可促进地区大 店商衛兵長田武 譜 元度發造製 即本市京原 店店衛兵新西小 5億 由現代京園

eg_e のんで 勝ちつづけ





A106

元三郎商店

(1) 内的 (2) ho (巨大阪商船城出机

元明日代 代原川 刘郎塔顺安店 九

医侧体出机 代料的 常田南仓 就洋山枫 代班内 北鮮南和如 電路二三番

商船出帆

10年(日本)

建筑出现区台

單て 用 盧 机火砂煤 配合式棒巢型治贸

能い幸仕

的

躨 繆

(罐 赤)

が極めて

9

は

9 育

礎 兒

/ 11/日 フルミナ

+